



有明高等学校が完全優勝！県高校生溶接技術競技会

県立有明高等学校（小田原啓朗校長、生徒数：36名）は、10月14日（火）に役場を訪れ、8月に霧島市の県工業技術センターで行われた『県高校生溶接技術競技会』で優勝したことを報告されました。

大会には県内の工業系高校8校から33名が出場し、厚さ9ミリの鉄板をアーク溶接で接合して曲げる中で、美しさや精度・強度などを競い、出場した5名が個人の部で上位を独占し、また、団体の部でも2連覇を果たし、『完全優勝』を成し遂げました。なお、上位3名に入賞した、畑中翔くん（菱田中卒）、上村満秋くん（大崎中卒）、平松憂大くん（宇都中卒）は、11月に沖縄県で行われた九州大会に出場しました。



▲完全優勝の報告に来られた右側から、田島正先生、畑中翔くん、上村満秋くん、平松憂大くん



全九州技能競技県大会優勝！又木英雄さん

有限会社南九州マーキングの又木英雄さん（仮宿下）は、10月20日（月）に役場を訪れ、10月4日（土）に鹿児島市で行われた『全九州技能競技鹿児島県大会』で優勝したことを報告されました。

この大会は、電気工事技術者の技能習得意欲を増進させ、技術水準の向上を図るとともに電気工事技術者としての社会的地位の向上と電気工業の進歩発展に貢献することを目的に行われており、今回で48回目を迎えました。

又木さんは、「大会に出場したことで他の競技者の技術を見ることもでき良い刺激になりました。今後の仕事面でも生かしていきたい。」と話されました。



▲優勝報告に来られた又木英雄さん



日本ハードウェア株式会社工場増設立地協定調印式！

10月20日（月）、役場にて『日本ハードウェア株式会社鹿児島工場増設立地協定調印式』が行われました。

日本ハードウェア株式会社（本社：愛知県名古屋市）は昭和36年に設立され、鹿児島工場は平成元年に操業を開始し、現在は、鍛造用の金型や工具を製造・販売しており、主に自動車関連メーカーに製品を供給しています。

今回増設する工場は、既存施設敷地内に約2億1千万円かけて建設（312㎡）する予定で、平成27年3月の操業をめざします。

工場増設に伴い、13名程度の新規雇用を予定しているとのことで、地域活性化にも繋がることが期待されます。



▲写真左側から、牟田神鹿児島県商工労働水産部次長、小川益治代表取締役、東町長